

教育にかける想い

く交野ならではの教育について語り合う

今年も、教育委員として長年本市の教育に携わっていただいた、摂南大学名誉教授の羽石寛寿さんと黒田市長が新春対談を行いました。



水と教育がいい

黒田 羽石先生には、昭和63年から教育委員、平成15年から教育委員長として、その手腕を発揮していただきました。27年10月に退任されるまで、約28年にわたる本市教育行政に関わっていただき、本当にありがとうございました。

羽石 長期間に渡り、教育委員を務められたのは、黒田市長をはじめ、歴代の市長や教育委員会関係者の方々の支えがあったからです。その間、私も非常にたくさんのお話を学ばせていただき、感謝しています。

黒田 就任当時は、日本全体

で今後、人口が増加すると見込まれてきたときで、本市でも人口増への対応が求められていた頃だと思っています。

羽石 当時は、プレハブの教育施設などで対応せざるを得ない状況で、教員や子どもたちに不自由な思いをさせてしまいました。その中で、さらなる人口増加への対応として、校区編成についても議論し、地域のみなさんにもご協力いただきました。校区編成は難しい問題でしたが、誰もが子どもたちのことを第一に考え、議論を深めました。

黒田 第三中学校における制服の自由化についても、議論をいただきました。

羽石 制服の問題は賛否両論

ありました。おしゃれをしたいという子どもたちの気持ちもよく分かります。しかし、自分たちの学校や制服を誇りに思うことの大切さや、みんなが同じ制服を着て同じ環境で学ぶことの良さを考えて、制服に決まりました。もちろん、保護者の方から制服が良しという声をたくさんいただきました。

黒田 これまでを振り返り、教育委員として苦労された点はどのようなことでしたか。

羽石 教育委員会では、さまざまな議論をする場面がありますが、何より教育委員長として、各委員の意見を調整するところに難しさを感じました。

力は大坂府下で上位ですが、「活用力」が伸びればさらに良くなると思います。「活用力」は、学校だけで育てられるものではありません。自然や歴史と触れ合ったり、家族や地域の人と交わることで、いろいろなものに興味を持ち、チャレンジする意欲が湧いてきます。自らが変化する力、変化に対応する力を常に持ち合わせてほしいと思います。

い影響を与えていると思います。

また、子どもたちに正面から向き合い、真剣に対応する小中学校の教員や、支援してくれる市民もたくさんおられます。交野の教育の良さは、教育環境の良さに尽きるのではないのでしょうか。

交野の子どもたちに 思うこと

黒田 先生は、学校教育の現場で子どもたちと身近に触れ合ってこられたと思います。交野の子どもたちについて思うことをお聞かせください。

羽石 交野の子どもたちの学

度で1つで、基本的な知識や読解力、論理的な思考などのために大切です。しかし、社会に出れば、さまざまな変化に対応し、人との関わりを大切にすることが求められます。

その変化に対応する力を身に付けるため、子どもたちには、交野の自然環境の中で自らたくさん経験し、いろいろな人との関わりから、協調性や「活用力」を育ててほしいです。

子どもの環境 今と昔

羽石 市長は、どのような子どもでしたか。

黒田 ザリガニ釣りや虫捕り、山の中の「秘密基地」遊びなど、とにかく友達と遊びました。夢中になって帰りが遅くなると、よく怒られました。

羽石 私もよく父親に怒られました。私もよく祖母が手を差し伸べてくれました。悪いことをすれば誰かが叱り、別の誰かがサポートしてくれる時代でしたね。

今は核家族化が進み、関係性が両親と子どもだけという家庭が増えていきます。時代の変化ではあります。が、善悪を小さい頃から教えるためには、地域住民など大人の関わりが子どもの

成長には必要だと思います。

黒田 「教育する」という言葉は、親や教員から見た言葉ですが、学校の教科書はあくまでも標準的な知識や能力を身に付けるものです。子どもの頃に感性を磨き、いろいろな経験をすることで、多角的な見方ができるようになり、それが変化に対応する力であり、協調性につながると思います。

羽石 確かに、教員の目から見れば「教育」ですが、子どもたちから見れば「学習」です。子どもには、それぞれに最適な学びの方法があると思います。

学校には、文部科学省から学習指導要領が示されていますが、これはあくまでもマニュアルであり、これをベースにどう指導していくのかについて、学校の教員は大変苦労されています。また、家庭教育の中でも同じことが考えられます。

（次ページに続く）



羽石 寛寿さん
(摂南大学名誉教授)

経営学部で人的資源管理論（経営労務論）を中心に研究され、中小企業で実践的な人材育成の実証的研究をされています。関西で初めて大学生のインターンシップを行うなど、キャリア教育の先駆者です。▷現在までの自治体との関わり
兵庫県労働部人材活用研究委員、交野市教育委員会教育委員・教育委員長、交野市文化財事業団理事、大阪府都市教育委員会連絡協議会副会長など



羽石 交野には歴史に育まれた豊かな里山の自然が、今でも残っています。日常生活の中で、歴史や自然を身近に学べる環境があるということ、教育に素晴らし

黒田 子どもたちにとって
は、教員からの「教育」に
対して「学習」し、その結果「成
長する」ということなんで
すね。

羽石 文部科学省で、生涯学
習という言葉についても
議論されました。過去にい
われていた「生涯教育」と
いう言葉では、生涯を通し
て誰が誰を教育するのか。
自分を主体として、生涯を
通じ「自ら学ぶもの」であ
るため、「生涯学習」という
名称に変化した経緯があり
ます。

情(こころ)の教育



黒田 市が、学校教育、生涯
学習に係る理念を示した、
「交野市教育大綱」を27年
に策定しました。この中で、
先生は特に「情(こころ)の
教育」を大事にしておられ
ました。

羽石 一般的に「学習」とは
自己研さんです。しかし、
人間は決して一人では生き
ていきません。多くの人た
ちとの関わりの中で成長し
ていくものです。そのため

には「情け」がなければな
りません。

これは子どもたちだけ
でなく、社会人や組織の中
で活動する人も同じです。
「情」を「こころ」と読むこ
とには、自分だけでなく、
周りの人たちにも気持ち
を伝えながら、一緒に成長
する、という意味を持たせて
います。

また、教育は決して学力
だけの問題ではありません
。生きていくために求め
られる、人間性の豊かさ
と創造性、健康、体力とい
った「知・徳・体」をバラ
ンスよく育てることが必要
だと思えます。

特に、人間性の大部分は
家庭学習に関係します。私
は「情(こころ)」の部分
を幼少期にしっかりと育て
ることが大事だと思ってい
ます。何より自分が愛され
ていること、人を大切にす
ること、人の嫌がることを
しないといった「良心」を
自然と身に付けるためです。
学校においても、詰め込
み型の学習だけでなく、自
ら考え学ぶ力を養うための

学習をさらに進める必要が
あると考えています。

これからの教育に
求めるもの、夢



黒田 「手を離しても、目は離
すな」とよくいわれていま
すが、まさにそうだと思います。
現在、各地域のみな
さんに登下校時の見守り活
動をしていただいています。

また、学校現場では、教員
の目がクラスの子どもに行
き届くよう、今年から、少
人数級の取り組みを小学校
全学年に広げ、1クラス35
人学級にしていきます。



羽石 子どもに対するきめ細
やかな対応は、教育者とし
ても大変うれしく思いま
す。35人学級は、教員の目
が行き届くだけでなく、子

どもたちが自己主張し、他
人の意見をしっかりと聞く
ことができず。必ず、成
果につながると確信してい
ます。

最近の子どもたちは、「危
険だからダメ」と経験させ
てもらえないことが多いよ
うに思います。しかし、痛
い思いを経験することで、
他人の痛みを知ることにつ
ながったり、痛みから立ち
直ることで達成感、挫折感
を知り、人として成長して
いきます。親や周囲の大人
は子どもをしっかりと見守
りながら、その経験の手助
けをすることが大事です。

また、今の学校現場では、
教員が忙しすぎて子どもた
ちの教育に費やせる時間が
少ないことが課題となって
います。これは、学校内だ
けで議論するのではなく、
親や地域も巻き込んで、そ
れぞれの立場で遠慮なく話
し合うことが必要です。

子どもへの教育は今や、学
校だけでなくできるものでは
ありません。家庭・地域・学
校が一緒になって子どもを
育んでいくという真の地域

交野市教育大綱〈27年度～31年度〉

27年4月に地方教育行政の組織および
運営に関する法律が改正され、大綱の策定
が義務付けられました。

市では、「教育百年の森の実現、～生き
る力を養い多様性に富んだ人材の育成～」
を理念に、情(こころ)を育み、自然・歴史・
スポーツ・文化の振興などの基本方針の
下、教育振興に取り組んでいきます。

学校協働活動が、子どもた
ちの成長につながっていく
のだと思えます。

黒田 熊本地震が発生して間
もなく、市内の小・中学生
が自主的に募金活動をし、
市に届けてくれました。私
は子どもたちの「情(こ
ろ)」の成長を知り、感動し
ました。子どもたちはそれ
ぞれのペースで、常に成長
しているのです。

交野には、子どもを成長
させる環境が備わっていま
す。これからも、家庭・地域・
学校など、まちぐるみで、
この魅力を高めていきたい
と考えています。